

研究公正研修 e-Learning (eAPRIN) 受講マニュアル JST 事業採択者向け研修用

1. ログイン

以下のログイン画面を開き、ユーザ名とパスワードを入力の上、ログインしてください。

URL: <https://edu.aprin.or.jp/>



①ユーザ名・パスワードについて（初めてログインされる場合には初期パスワードを設定しています。）

・教職員

ユーザ名：受講者自身の全学メール（KUMail）アドレス

・大学院生、日本学術振興会特別研究員

ユーザ名：受講者自身の学生メール（KUMOI）アドレス

◇初期パスワード（初回ログイン時にパスワードを変更してください）

・2020/4以降登録分：登録時にユーザ名となっている全学メールアドレスに初期パスワード等のアカウント情報をお知らせするメール（送信者、件名は以下の通り）が送信されます。

【送信者】no-reply@aprin.or.jp

【件名】APRIN eラーニングプログラム（eAPRIN）：[eAPRIN]アカウント発行のお知らせ/Your Account


・2020/3以前登録分：現在のパスワードがお分かりにならない方は以下の手順でパスワードの再設定を行ってください。

・初期パスワードをお知らせするメールは再送信できません。メールを紛失された方、または登録時期にかかわらず、現在のパスワードがおわかりにならない場合は、eAPRINのトップページから「ユーザ名・パスワードを忘れた方」をクリックの上、指示に従ってください。初期設定ではユーザ名と同じメールアドレスにパスワード再設定手続きメールが送信されます。

2. 初期設定【初回ログイン時】

- ・初回ログイン時には、画面の指示に従いプロフィールを設定してください。

▼姓、名、メールアドレス等

姓* 

名* 

メールアドレス*

[メールアドレス設定について \(クリックで表示\)](#)

文字の大きさ

- ・姓、名、メールアドレスをご確認の上、適宜修正してください。
- ・ここで設定されている「姓」「名」が修了証に表示されます。初期値は全学メールアドレスより自動的に入れております。外国人の方の場合、氏名の順序等正しく表示されていない場合がありますので、よく確認してください。
- ・現在利用可能なアドレスを設定してください。
- ・eAPRIN 内の別のアカウントで使用中のメールアドレスは登録できません。
- ・ダミーのメールアドレスが表示されている場合は利用可能なアドレスに修正してください。
※複数のアカウントをお持ちの方でメールアドレスの重複登録を回避するためにシステムが「dummy_」という文字列を付けている場合があります。(例)dummy_kyodai.taro.3x@kyoto-u.ac.jp
- ・メールアドレスを修正すると、変更後のメールアドレスに確認用メールが送られますので、受信して手続きを進めてください。

▼受講コース等 (Course etc)

- 受講コース(Course Selection)*
- 京都大学 医の倫理委員会受講者コース (20**)
 - 【必須コース】京都大学 全学共通基礎コース (20**)
 - JSTコース(1) (生命医科学系) /JST Course (1) Biomedical
 - JSTコース(2) (理工系) /JST Course (2) Engineering
 - JSTコース(3) (人文系) /JST Course (3) Humanities

受講コースについて (クリックで表示)

成績管理部署 (部署) (Department) 京都大学

ユーザ属性(User Attribution)* 選択...

成績の開示(Grade Disclosure)* 開示しない(Not Disclose)

成績の開示について (クリックで表示) ※JST採択事業への参画者向け

▶ユーザ画像

▶追加氏名 変更しません

▶任意 変更しません

プロフィールを更新する

キャンセル

・「受講コース」は、初期値として『京都大学 全学共通基礎コース (20**)』が選択されています。必要に応じて追加選択してください。

・「ユーザ属性」をプルダウンから選択してください。

・「成績の開示」は、原則『開示しない』を選択してください。

※「成績の開示」で『開示する』を選択した場合、『JST 事業受講者コース』の修了状況を、科学技術振興機構 (JST) が確認できるようになります。

・「追加氏名」「任意」は変更しないでください。

・全てが完了したら、「プロフィールを更新する」をクリックしてください。

なお、上記で示した項目以外は変更しないでください。

3. 受講方法

- ・ログイン後、メインメニューが開かれます。該当する『JST 事業受講者コース』の下にある単元の横のステータス(卵のマーク)が【完了】でない単元いずれかをクリックしてください。

メインメニュー

あなたの情報

京都大学

成績管理部門 (部署)

京都大学

お問い合わせ

【京都大学のお問い合わせ先】

成績管理代表者の連絡先
名前: 京都大学 成績管理代表者
メールアドレス:
compliance@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

受講者確認

受講履歴確認

修了証一覧

教材一覧

本マニュアルでは例として生命医科学系を選択しています。

APRIN事務局からのお知らせ
(まだ新しいニュースはありません)

所属機関からのお知らせ
(まだ新しいニュースはありません)

選択中のコース

●: 完了 ●: 受講中 ○: 未受講

JSTコース(1) (生命医科学系) / JST Course (1) Biomedical 【受講期限: なし】 【修了まであと 7 単元】

- 責任ある研究行為について / Responsible Conduct of Research_RCR
- 研究における不正行為 / Research Misconduct_RCR
- データの扱い / Data_Handling_RCR
- 共同研究のルール / Rules for Collaborative Research_RCR
- オーサーシップ / Authorship_RCR
- 盗用 (生命医科学系) / Plagiarism (Biomedical)_RCR
- 公的研究費の取扱い / Managing Public Research Funds_RCR

【必須コース】 京都大学 全学共通基礎コース (20) 【受講期限: 】 【修了まであと 1 単元】

● 責任ある研究行為ダイジェスト / < Digest_Version > Responsible Conduct of Research_RCR

コース選択 (登録情報の変更)

- ・クリックすると選択した単元の画面になるため、以下の画面で「テキストを読む」をクリックしてください。

京都大学

メインメニュー ▶ 京都大学 ▶ 責任ある研究行為: 基盤編(RCR生命医科学系) ▶ 責任ある研究行為について / Responsible Conduct of Research_RCR

責任ある研究行為について / Responsible Conduct of Research_RCR

はじめに、テキストを受講してください。
テキストの受講を完了すると、クイズを受けることができます。

テキストを読む/Read the text

クイズはまだ受けられません/Cannot take the quiz yet

クイズで80.00点以上を獲得すると完了となります。
You complete the required module when you score 80.00 percent on the quizzes.

メインメニューへ

- ・教材言語選択が現れるので、日本語・英語どちらかの言語を選択してください。

責任ある研究行為について / Responsible Conduct of Research_RCR [TEXT]

教材言語選択 / Select Your Language

教材は日本語版と英語版がありますので、どちらかの言語を選択してください。

Please select preferred language for modules (Japanese or English version).

日本語版 English

- ・テキスト教材が表示されるので、受講を開始してください。

責任ある研究行為について／Responsible Conduct of Research_RCR [TEXT]

教材 日本語版

原稿作成日： 2019年3月31日
最終修正日： 2018年10月1日

責任ある研究行為について

<教材提供>
一般財団法人公正研究推進協会(APRIN)

目次

- はじめに
- 研究を実施する上でのルール
- ケーススタディ：研究成果の発表
- 職能集団の自律規範
- 政府による規制
 - 米国の場合
 - 日本の場合
- 研究機関による規制
- 研究者個人の責任

ただし、一人で問題を抱え込む必要はありません。研究室の同僚や、近い研究室の仲間、同じ分野の研究者などに相談してみることは有意義です。問題を別の角度から考えたり、自分では思いつかなかったような解決策を与えてくれることもあるでしょう。また、研究機関に設置されている相談窓口も利用できます。研究者として誠実な行動とはどのようなものなのかを常に意識して行動すること、それがもっとも重要なことなのです。

議論のためのクエスチョン

- ▶ どういう機会に、研究者は「責任ある研究行為」について学ぶことになるのでしょうか？
- ▶ 研究者はどのような方法によって「責任ある研究行為」を学ぶべきなのでしょうか？
- ▶ 研究者の責任ある研究態度に影響を与えるファクターには、どのようなものがあるのでしょうか？
- ▶ 研究者の誠実さを監視できる方法がありますか？
- ▶ 自己規制は誠実さを確保するという点で有効だと思いますか？
- ▶ 自分の研究分野で「誠実ではない」研究行為にどのようなものがあるのでしょうか？また、そのような行為に直面したとき、あなたはどのように行動すればよいと思いますか？

責任ある研究行為について

参考文献

本単元は、BRANY (Biomedical Research Alliance of New York) のCITI Program部門の好意により契約に基づいて提供された「Introduction to the Responsible Conduct of Research」(Nicholas H. Steneck) を骨格とし、APRINの研究者コミュニティの協力を得て、日本の法律・指針その他に沿って作成された教材です。日本語版の作成・査読に参加した専門家の方々の氏名は別に記載させていただきました。

[この教材についてご意見をお寄せください](#)

[クイズへ](#)

・クイズ教材が表示されるので、受講を開始してください。

京都大学

メインメニュー ▶ 京都大学 ▶ 責任ある研究行為：基盤編(RCR生命医科学系) ▶ 責任ある研究行為について/Responsible Conduct of Research_RCR

クイズナビゲーション



解答完了

問題 1

未解答

最大評点 20.00

「責任ある研究行為」の定義を最も適切に表現しているのはどれか。1つ選んでください。

Which of the following is most appropriate as a definition of "responsible conduct of research"? Choose only **one** answer.

- 個人の経済的利益を求めた研究行為。
Research conduct that focuses on personal financial interest.
- 研究者としての自覚にもとづき誠意に行う研究行為
Research conduct that carried out in good faith based on the consciousness as a researcher.
- 法令の遵守だけに気を付けた研究行為。
Research conduct that only focuses on compliance with statutes.
- 最先端の技術を使って科学的な疑問に答えを求める研究行為。
Research conduct that seeks answers to scientific questions using advanced technologies.

問題 2

未解答

最大評点 20.00

人を対象とした研究に関する日本の現在の指針はどれか。該当するものを**すべて**選んでください。

Which of the following is Guidelines on human subject research in Japan today? Choose **all** applicable answers.

- 遺伝子治療臨床研究に関する指針
Guidelines for Gene-therapy Clinical Studies.
- ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針
Ethical Guidelines for Human Genome/Genome Analysis Research.
- 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
Ethical Guidelines for Medical and Health Research Involving Human Subjects.

・すべてのクイズ教材を解答した後、「解答完了」をクリックしてください。

問題 5

未解答

最大評点 20.00

日本学術会議が平成25年に科学者の行動規範に関して出した声明の内容に**含まれていない**のはどれか。1つ選んでください。

Which of the following is **NOT** included in the statement regarding Code of Conducts for Scientists published by the Science Council of Japan in 2013? Choose only **one** answer.

- 研究成果の利用が常に社会に正の結果をもたらす点。
Bringing only positive results to society by the use of research results.
- 研究対象となる人や動物への配慮の必要性。
Consideration for human and animal research subjects.
- 政策の立案に当たって、助言を提供する責任。
Responsibility for providing a scientific advice to policy planners.
- パブリックに対する説明と公開の義務。
Duties of accountability and disclosure to the public.
- 研究者間の教育・啓発の義務。
Duties of education and enlightenment among researchers.

解答完了

・よろしければ「完了」をクリックしてください



クイズを完了しますか？

やり直す場合は「キャンセル」を押してくださ

い。

完了

キャンセル

- ・クイズの成績が表示されます。修了には、80点以上が必要となります。
- ・レビュー画面下部もしくは画面左上にある「レビューを終了する」をクリックしてください。
- ・ログイン後に表示されるメインメニューに戻ります。

メインメニュー > 京都大学 > 責任ある研究行為：基礎編(RCR生命医科学系) > 責任ある研究行為について/Responsible Conduct of Research_RCR

クイズナビゲーション

1 2 3 4 5

1 2 3 4 5

レビューを終了する

開始日時 2019年 04月 9日(火曜日) 10:42

状態 終了

完了日時 2019年 04月 9日(火曜日) 10:48

所要時間 6分 32秒

得点 86.67 / 100.00

問題 1

正解 20.00 / 20.00

「責任ある研究行為」の定義を最も適切に表現しているのはどれか。1つ選んでください。

Which of the following is most appropriate as a definition of "responsible conduct of research"? Choose only **one** answer.

- 個人の経済的利益を求めた研究行為。
Research conduct that focuses on personal financial interest.
- 研究者としての自覚にもとづき誠実に研究行為
Research conduct that carried out in good faith based on the consciousness as a researcher.
- 法令の遵守だけに気を付けた研究行為。
Research conduct that only focuses on compliance with statutes.
- 最先端の技術を使って科学的な疑問に答えを求める研究行為。
Research conduct that seeks answers to scientific questions using advanced technologies.

あなたの答えは正解です。

正答: 研究者としての自覚にもとづき誠実に研究行為
Research conduct that carried out in good faith based on the consciousness as a researcher.

- ・80点に満たない場合は、再度クイズ教材を受講してください。該当する『JST 事業受講者コース』に設定されている単元のステータスがすべて「完了」となるまで、同じ要領で受講してください。

本マニュアルでは例として生命医科学系を選択しています。

メインメニュー

あなたの情報

京都大学

成績管理部局 (部署)

京都大学

お問い合わせ

【京都大学のお問い合わせ先】

成績管理代表者の連絡先

名前: 京都大学 成績管理代表者

メールアドレス: compliance@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

受講者機能

受講履歴確認

修了証一覧

教材一覧

APRIN事務局からのお知らせ

(まだ新しいニュースはありません)

所属機関からのお知らせ

(まだ新しいニュースはありません)

選択中のコース

👉 : 完了 🟡 : 受講中 ○ : 未受講

JSTコース(1) (生命医科学系) / JST Course (1) Biomedical 【受講期限: なし】 【修了まであと 6 単元】

- 責任ある研究行為について/Responsible Conduct of Research_RCR
- 研究における不正行為/Research Misconduct_RCR
- データの扱い/Data Handling_RCR
- 共同研究のルール/Rules for Collaborative Research_RCR
- オーサーシップ/Authorship_RCR
- 盗用 (生命医科学系) /Plagiarism(Biomedical)_RCR
- 公的研究費の取扱い/Managing Public Research Funds_RCR

【必須コース】 京都大学 全学共通基礎コース (20) 【受講期限: 〇 ~】 【修了まであと 1 単元】

👉 責任ある研究行為ダイジェスト/ < Digest Version > Responsible Conduct of Research_RCR

コース選択 (登録情報の変更)

4. 修了証の表示について

- ・コースに設定されている全ての単元においてステータスが完了(80点以上取得)となると、メインメニュー画面で修了証の表示が可能となります。
- ・コース名横の【修了証】というリンクをクリックすると表示されます(PDF形式)。
- ・また、過去に取得した修了証は画面左のメニュー「受講者機能」の修了証一覧より表示させることができます。

本マニュアルでは例として生命医科学系を選択しています。

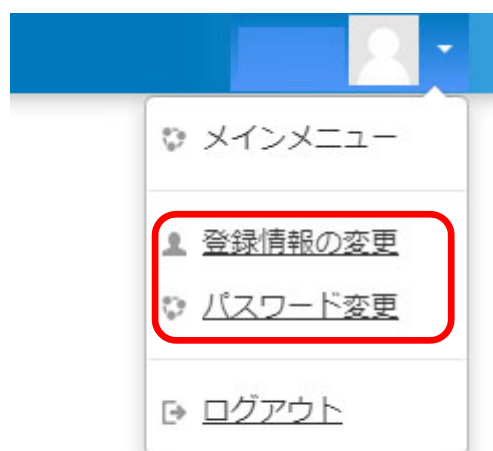


The screenshot displays a user profile on the left and a course list on the right. The user profile includes 'あなたの情報' (Your Information) for Kyoto University and '受講者機能' (Student Functions) with a red box around '修了証一覧' (Completed Certificate List). The course list shows 'JSTコース(1) (生命医科学系) / JST Course (1) Biomedical' with a red box around the '【修了証】' (Completed Certificate) link. Below it, a list of completed units is shown with a red box around the first unit: '責任ある研究行為について / Responsible Conduct of Research_RCB'.

以上で受講は完了です。

5. プロファイルの変更

- ・画面右上のユーザ名が表示されているプルダウンよりプロフィールの変更およびパスワードの変更を行うことができます。



The screenshot shows a user profile dropdown menu with a red box around the '登録情報の変更' (Change Registration Information) and 'パスワード変更' (Change Password) options.

6. その他

- ・修了証が表示された後に、修了証内の「姓」「名」の並び順など変更が必要となった場合は、ユーザでは変更できませんので、「ID」と「変更内容」を添えて、ページ最下段の問い合わせ先メールアドレスまで申請してください。
- ・修了証については、選択したコース全体に発行されますので、メインメニューの教材一覧より個別の単元を選ばれて受講されましても単元についての修了証は発行されません。

全学メールアドレスとは

全学メールアドレス（KUMail/KUMOI）とは、SPS-ID や ECS-ID 発行時に配布されたアドレスであり、@以下が以下のような体系のものを言います。

- ・ @kyoto-u. ac. jp （KUMail）
- ・ @st. kyoto-u. ac. jp （KUMOI）

以下のようなアドレスとは異なりますので、ご注意ください。

- ・ @****(st 以外). kyoto-u. ac. jp （部局により独自に発行されたアドレス）
- ・ @kyoto-u. jp （転送用の生涯アドレス）

ご不明点は、部局の担当もしくは以下の本学担当までお問い合わせください。

研究推進部研究推進課 重光、高石

(外線:075-753-5586,5414 内線:16-5586,5414 E-MAIL: integrity-el@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)